

【質問・回答】

【案件名】 サーバー機器他 リース

- | | |
|----|--|
| Q1 | 本件は新規導入に伴う入札でしょうか。あるいは代替でしょうか。代替に伴う入札の場合、既存物件は何年程使用されていますでしょうか。また、賃貸借満了後、当該物件を継続使用する可能性はありますでしょうか。その場合何年程使用される予定でしょうか。 |
| A1 | 本件は、7年8カ月(5年リース+2年8カ月再リース)使用している既存物件の入替に伴う入札です。

現在のところ、賃貸借満了後1～2年程度の継続使用をする可能性があります。 |
| Q2 | 仕様書内納入期限日までに物品を納品できることは可能と確認取れておりますが、半導体不足や物流遅延等の不測事態が発生し、リース会社の不可抗力により納期遅延となった場合、当社への指名停止等の処分、賠償請求や違約金請求なく、契約期間変更等の協議に応じていただけますでしょうか。 |
| A2 | 契約規程第33条のとおり、天災その他不可抗力により遅延が生じる可能性がある場合は、直ちにその理由を示していただくことで、契約期間の変更等について協議させていただきます。なお、遅延理由が不可抗力に該当するか否かの判断は事例によるので、別途協議の上、契約の変更、解除又は違約金の徴収等について検討させていただきます。 |
| Q3 | リース期間中に、予算が削減又は削除された場合など、発注者の都合により解約となった場合、損害金はお支払いいただけますでしょうか。 |
| A3 | 本契約において、予算の削減又は削除された場合の契約解除に伴う損害賠償の支払いは想定しておりません。そのため損害賠償の支払いに伴う協議についても応じる予定はございません。 |
| Q4 | 今回の仕様物件につきまして、経費の歳入歳出予算の減額又は削除を理由に、賃貸借契約期間中に契約を解除した事例はありますでしょうか。また、経費の歳入歳出予算の減額又は削除の可能性はありますでしょうか。 |

A 4	予算の削減又は減額に伴い契約解除に至った事例はございません。 当該案件については60カ月のリースを計画しております。今後の経営状況によっては歳出予算の削除又は減額は考えられます。
Q5	仕様物件を設置する建物は耐震構造となっておりますでしょうか。
A5	機器設置場所は、耐震構造を有した建物内です。
Q6	リース期間満了後の機器撤去に関しまして、システムダウン等のリスク回避のため、抜線及び取り外し、1か所に集約する作業については発注者実施の認識でよろしいでしょうか。
A 6	そのとおりです。機器撤去については、公社で保守管理を委託している業者が対応するため、リース会社は、機器の回収をお願いします。